

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	総務文教常任委員会		会議場所 第3委員会室 担当職員 井上
日 時	令和3年3月22日(月曜日)	開 議 閉 議	午前10時25分 午前10時45分
出席委員	◎木村 ○浅田 三上 山本 松山 小松 齊藤 石野		
執行機関 出席者			
事務局	井上事務局次長		
傍聴	可	市民 1名 報道関係者 0名	議員 0名()

会 議 の 概 要

10 : 25

1 開議

2 委員長報告の確認

<木村委員長>

— 委員長報告の朗読 —

— 全員了 —

3 その他

(1) 議会だより原稿について

— 議会だより原稿の確認 —

— 全員了 —

(2) 月例開催について

<木村委員長>

月例開催のテーマについて、意見があればお願いする。今、意見が出ないようであれば、次回検討させていただく。行政視察も秋頃になる。各会派の視察もあるので、調整して決めていきたい。

<松山委員>

月例開催のテーマと合わせて、考えていただいてから後日検討すればどうか。

<齊藤委員>

以前から亀岡の教育を非常に心配している。教育委員会は、テストの平均点も、はっきりしたことは言わない。学校ごとの点数も言わない。大阪維新の会はしっかり対応しているが、何事に関してもデータがないと、どこをどうすればよいか、はっきりしたことがわからない。鳥山シティプロモーション担当室長も、亀岡のどこがどう悪いのかというデータを取っている。データを取り、分析し、改善していかなければならない。しかし、教育委員会は、堀の中にあってなかなか入り込めない。

隠して出さないの、つきにくい。他市の事例を踏まえて、亀岡の子どもたちをよくしていきたい。私学が無償化されると、公立学校に行っても成績が上がらないと誰も公立学校に行かなくなるだろう。将来が見えないということになる。それでは本末転倒である。亀岡市内で成績の優秀な子ども、成績だけでなく、将来たくましく生きていける子どもを育てなければならない。勉強ばかりが教育ではない。そういうことをやっている先進地に行きたいと思っている。

<木村委員長>

齊藤委員から、教育の先端をいく市町を視察してはどうかという意見が出た。夏までは無理ではないかと思っているが、候補地は関東方面か。

<齊藤委員>

東京都千代田区の中学校は、全く違うことをされている。今まで70年間続いた教育委員会制度は古すぎる。学校は、本来、世の中に出て社会の役に立つ子どもを育てていかなければならないのに、そうになっていないということで、学校改革を一生懸命にされている。ただ、東京都千代田区は、大都会の真ん中であり、亀岡のような地方都市とは違う。広島自動車販売をされていた女性社長であったと思うが、教育長として民間の方を呼んできて改革をされている例もある。他にもよいところがあると思うが、候補に上げさせていただく。

<山本委員>

議会だよりの上段、南つつじヶ丘トイレの大規模改造と書いているが、改造という言葉はあまり聞いたことがない。改修ではないか。

<木村委員長>

修正する。

<齊藤委員>

先日の予算分科会で、東別院町に買い物ができる地域拠点施設をつくる件で出た話であるが、株式会社全笑は、設立して12年間、一切給料遅延はしたことがないと言われている。障がい者支援に対しても、そのようなことは全くないということで、非常に心外であるから、そのように言われるなら訴訟を起こすと言われていた。勘違いをされているのであれば、東本梅町馬酔木でされていた「みんなではたらくたのしくはたらく」が、亀岡ではA型で一番初めに認可された障がい者支援施設であるが、そこがうまくやれていなかったの、そこを吸収された。吸収されてからは一切遅延はされていない。ただ、前の経営者がされている可能性はあるかもしれない。それを言われるのであれば、全く会社が違うので、それは大変心外だと言われていたので報告しておく。

<松山委員>

齊藤委員は、東別院町の全笑の方から聞かれたのかもしれないが、行政として、そういった声があるからには調査が必要であろうということで、委員会としても話があったと思う。委員会としてどうこうというよりも、行政側が運営にはタッチしないということであったので、そういった声があったというところで、行政として調べたほうがよいであろうという話をさせていただいた。総務文教常任委員会の全体的な意思として、思っておきたいと思う。

次の月例で、行政視察と委員会テーマを議論するというのでよいか。

<木村委員長>

視察については、おおよそのことは決めておけばよいが、決定するまではいかないと思う。コロナ禍で流動的であり、決めておいても行けないこともある。また、状況が変われば違う意見が出てくるかもしれない。秋頃に行くということだけ合意を

得ておけばよいと思う。

<松山委員>

コロナでどのような状況になるか見えないので何とも言えないが、寒くなってからよりも、7月か8月くらいがよいと思う。そうであれば、5月か6月には決めておかなければならない。

<木村委員長>

東京オリンピック・パラリンピックが開催されるか、されないかにもよると思う。それまでは無理ではないかと思っている。寒くなるまでに行かなければならないと思っているが、会派の視察を秋頃に考えておられるので、接近しすぎてもいけない。遅くても11月くらいまでで、行先にもよるが10月、11月くらいで考えてはどうかと思う。

<齊藤委員>

行くか行かないは情勢任せでよいが、テーマは決めておかなければ、急場しのぎになってはいけない。テーマは、4月か5月に決めておいたほうがよい。去年は、亀岡に視察に来られるところが全くなかったのが、亀岡に視察に来られるようになれば、こちらからも行けると思う。

<木村委員長>

4月、5月に視察テーマを決める。次回、意見を伺う。

(3) 次回の日程について

- ・ 4月23日（金） 午前10時00分～
月例開催について、行政視察について

散会 ～10:45